

【株式会社 読売・日本テレビ文化センター(よみうりカルチャー) 様】

上映日: 2015/3/28(土) 場所: よみうりカルチャー青山教室(東京都港区)



映画上映後に行なわれた、宮本監督のトークイベント。

上映会&トークイベント「共に歩く」

映画『共に歩く』は監督の実体験をもとに、共依存、子供の強迫性障害、若年性アルツハイマー型認知症、アルコール依存症に苦しむ人々が、そこから抜け出す過程を描いた、奥やかな愛の物語(映画『共に歩く』2014年、出演:小澤亮太、入山法子、朝加真由美ほか)。テーマは少々重たいですが、劇場公開時に観客から絶賛された、誰しもが共感できる感動作。上映後は宮本監督の講演、質疑応答があります。

◆日 時/3月28日(土) 13:00~15:30(開場12:30)

◆会 場/よみうりカルチャー青山教室
(国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス5階ホール)

◆講 師/監督・脚本 宮本正樹

◆受講料/一般2,000円、会員1,800円

◆申し込み/恵比寿センター(03-3473-5005)

事業担当(03-3642-4301)



機関誌「よみカル」で上映会を告知。

参加者の反応に、現代社会における身近なテーマでもあることを実感

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

『共に歩く』の宮本監督とは、以前、弊社よみうりカルチャーの映画関連のイベントでお世話になり、その関連で上映会のお話を伺いました。

映画の内容が弊社の受講者のニーズ、年齢層に合った内容だと判断し、開催に至りました。

●地域へどのように告知をしましたか？

新聞折り込みチラシに掲載、読売新聞掲載、弊社機関誌「よみカル」掲載、東京都人材支援事業団会員誌掲載、文京区シビックセンター内でチラシ配布、各イベント会場でチラシ配布、青山教室・恵比寿・大森・川崎センターにチラシ設置、DM送付などで、告知を行ないました。

●告知の中で、効果があった方法を教えてください。

以前開催した映画講座の受講者にDMを送付した方法です。

●上映会当日の参加者の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

この作品が、監督の実体験を基にしているということもあり、映画の上映後は監督によるトークイベントを実施しました。

映画内容、監督のトーク共に良い内容で、有意義な開催とすることが出来ました。

監督のトーク後、参加者からの熱心で真剣な質問が多数あり、イベント終了後も、監督へ相談をしたり感想を伝えたりする方々がいらっしやるほどでした。

参加者からは、「とても考えさせられる内容だった」「トークを聞いて映画をより深く理解できた」

「監督の体験談がとても参考になった」「これからの生き方に反映していきたい」「たくさんの会場で上映してもらいたい」といった感想をいただきました。

想像以上の反響に、この映画で描かれる子どもの強迫性障害、認知症、アルコール依存症、共依存症などは、重いテーマながら、現代社会における身近なテーマでもあることを実感出来ました。

ご担当者:
株式会社 読売・日本テレビ文化
センター(よみうりカルチャー)
田中敦子さん

よみうりカルチャー
<http://www.ync.ne.jp/>
約1万講座を19拠点で展開する
首都圏最大のカルチャーセンター。
各センターでは、俳句や短歌、音楽やダンス、スポーツ、美術や手芸、語学など、18ジャンルからなる多彩な講座を展開し、全体で約6万人が利用している。